

第46回 理事会 議事録

日時：平成21年11月27日15時から18時

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス51号館5階会議室

出席者：東海会長、長坂副会長、土田事務局長、前田理事、加藤理事、森宮理事、関沢理事、大島理事、甲斐理事、片谷理事、深田監事

議事内容：

0 理事会の成立

・土田事務局長より、出席者11名（理事10名監事1名）及び欠席者の委任状（15名）により、理事会が成立したことが報告された。

1 会員の入退会の承認について

・事務局から会員の入退会の報告がなされ承認された。

2 論文集の電子ジャーナル化について

・編集委員会から現在の学会論文集の電子ジャーナル化について、J-STAGEの利用が提案され承認された。ただし、現在の紙による刊行は平行して行うこととし、発刊後1年後にJ-STAGE上で一般公開することが承認された。

3 論文投稿システムの移行について

・現在利用している投稿システムは、上記の電子ジャーナル化に伴いJ-STAGEの投稿管理システムに移行することが承認された。

4 論文賞の創設について

・編集委員会から新たに論文賞の新設について提案があり、現在の学会賞、奨励賞の名称との整合をとることも含めて表彰委員会で検討することとした。

5 JRRの編集状況

・関沢理事からJRRの編集状況について報告がなされた。今後の論文の受付においては、SRA-欧州のJRRの投稿システムは出版社のものを利用するとの報告がなされた。

6 学会賞、奨励賞の審査結果及び大会発表論文賞受賞者案

・加藤理事（表彰委員会委員長）から、本年度の学会賞、奨励賞の審査結果及び大会発表論文賞受賞者案の報告がなされ承認された。なお、大会発表論文賞の今後の運用のあり方については、若手研究者の奨励の視点から見直し表彰委員会で検討することとされた。

7 ニューズレターの刊行状況について

・広報委員会から、ニューズレターは予定通り発行されていることが報告された。なお、ニューズレターの電子化に伴い廃止された紙媒体による刊行の復活について、会員サービスとの関係で再検討することとした。

8 英文ホームページについて

・情報管理委員会から、英文のホームページがCMSに移行すべく試作中であることが報告された。

9 リスクマネジャー認定委員会の新委員の補充について

- ・ リスクマネジャー認定委員会から、委員 4 名が退任されたため、新たに 3 名の委員の補充が提案され承認された。

1 0 書類審査によるリスクマネージャ資格の審査結果について

- ・ リスクマネージャ認定委員会から、書類審査によるリスクマネージャ資格の審査結果が報告され、会員 5 名及び非会員 2 名の 7 名の認定候補の提案があり、会員 5 名の資格認定が了承された。一方、非会員 2 名については、必要な審査書類の不備等があるとのことから必要な書類の補充をお願いし、リスクマネジャー認定委員会にて再審査することとした。

1 1 リスクマネージャ資格制度の見直しについて

- ・ 学会の法人化を踏まえ、常任理事会・法人化推進委員会において、今後の学会としての人材養成など社会貢献のあり方を検討し、その中で現行のリスクマネージャの CPD の運営のあり方や、新たなコース認定、書類審査による資格認定の判定基準、学会が実施する継続教育の研修プログラムのあり方などを、リスクマネージャ認定委員会で再検討することとした。

1 2 臨時総会の議案について

- ・ 東海会長から、臨時総会の第 1 号議案（会費値上げ）、第 2 号議案：学会規約の改定（解散条項）、第 3 号議案（学会解散と一般社団法人の設立及び定款設定）、第 4 号議案（設立時理事・監事）が報告され、新定款案の一部修正及び補充の上、すべての議案を総会に提案することが承認された。

1 3 新法人の定款案の修正について

- ・ 新法人の定款案第 12 条の役員、監事等の定員を、理事 7 名以上 9 名以内、監事 2 名、副会長 1、常任理事 3 名以内とする案が承認された。
- ・ 第 22 条が定める定時総会の開催時期は、事業年度終了後 3 ヶ月以内と修正することが承認された。
- ・ 第 51 条の事務局規定については、事務局長を置くことに加え、事務局には職員を置くことができると修正することが承認された。
- ・ 新定款の附則の設立時社員及び設立時理事は現常任理事とすることが承認された。また、設立時監事は、現深田監事とすることが承認された。

1 4 理事の選出方法について

- ・ 法人化以降の新理事の選挙制度については、今後、常任理事会で検討し内規を整備することとした。

1 5 平成 22 年度行事予定について

- ・ 春季シンポジウムの企画責任者は、中谷内理事が担当することが承認された。
- ・ 年次大会は、森宮理事が実行委員長となり明治大学を会場として開催することが承認された。

1 6 その他報告

- ・ 新たに制定された共催に関する内規に基づき、防災科学技術研究所から申請がありメ

ール審議で承認されたことが報告された。

- 若手によるワークショップ企画の提案事項が、メール審議により 2 件承認されたことが報告された。
- 東海会長、松本理事、池田先生、前田理事が 10 月 18 日、SRAチャイナに出席したことが報告された。